

第2学年 社会科学習指導案

日時 平成29年9月22日(金) 13:30~14:20

学級 2年A組(男子18名 女子10名 計28名)

授業者 教諭 盛合 晃敬

- 1 単元名 1節 九州地方
3 多様な環境問題と環境保全の取り組み

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領の地理的分野の「内容(2)日本の様々な地域 ウ 日本の諸地域」にあたり、日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域の特色ある地理的事象や事柄を他の事象と有機的に関連づけて追究する活動を通して、日本の諸地域の地域的特色をとらえさせることを主なねらいとしている。

九州地方は日本の南西部に位置し、冬でも比較的温暖な気候で南西諸島は亜熱帯に属する。桜島や阿蘇山など、現在でも活発に活動している火山が多くあり、鹿児島県や宮崎県南部では火山灰などの噴出物が厚く堆積したシラスが広がっており、噴火の際にできたカルデラも見られる。また、台風の通り道になることが多く、集中豪雨による自然災害が多く発生する地域でもある。人口は北部に偏り、地方中枢都市である福岡市とその周辺に集中している。産業から見ると、農業生産額が非常に高く、特に畜産や野菜の生産はその中心的なものであり、我が国の代表的な食料生産地域ともなっている。

本単元の学習から、九州地方の自然環境や産業について理解を深めること、自然災害などについて、資料を基にとらえたり、九州地方の特色を多面的・多角的に考察し、自分の考えや意見をまとめることによって、表現する力を高めることができると考える。また、近年多発している集中豪雨による被害は、九州地方だけでなく全国各地で起こっており、その防災対策や復興支援の在り方を追究させることは公民的資質を養成する上でも価値の高い単元であると考えられる。

(2) 生徒観

本学級は、全体的に明るい雰囲気です。授業に取り組むことができるが、反面でけじめに欠ける場面も多く見られる学級である。社会科の授業には意欲的に取り組む生徒が比較的多く、社会的事象への関心も高い。学び合い活動においても、男女が協力して学習活動に取り組むことができる。挙手・発言も積極的にする生徒が多いが、自分の考えや意見を発表する場面では極端に少なくなる傾向も見られる。

地理的分野の学習については、苦手な意識を持っている生徒が多く見られたが、徐々に改善されてきており、昨年度よりも興味・関心を持って意欲的に授業に取り組む生徒が増えてきているように感じている。先日実施した「1年生と比べて地理の学習に興味・関心を持って取り組んでいるか?」というアンケートでは、「取り組んでいる」が59.2%、「どちらかといえば取り組んでいる」が37.0%という結果となっている。今年度のNRT検査の結果を見ると偏差値平均は全国水準とほぼ同じであるが、偏差値が低い生徒のデータを分析すると、地理的分野では「世界の地域構成」と「世界地理総合」で指導を要するとされる生徒が多い。また、「地理の授業で分からないこと、困っていることは何か?」というアンケートでは「時差の計算」が18.5%、「調べたことや自分の考えを文章にまとめる」が14.8%、次いで「都道府県の位置」と「雨温図や気候」が共に7.4%という結果が出ている。基本的な計算や知識、資料を読み取る力もさることながら、調べたことや読み取ったこと、自分の考えなどを文章にまとめられないという実態を鑑み、今後は、確かな知識と資料を読み取る力、学習内容や自分の考えを文章化、言語化していけるような指導を行いながら、思考力、判断力、表現力を高めていくことが必要である。

(3) 指導観

指導にあたっては、生徒が学習課題についてわかりやすく考えられるよう、また、九州地方の自然環境についてきちんと理解を深められるような資料や学習活動を精選・展開していきたい。単元の学習を通して、学び合い活動の更なる向上を図りながら、課題に応じた学習内容をまとめ、振り返られるよう指導するとともに、複数の資料から事実や課題を読み取る力も高めていけるようにしたい。本校の研究主題である「学び合い、考えを深める生徒の育成」に向けて、思考力や判断力、表現力を高められるような自力解決や学び合いの場を学習過程にきちんと位置づけ、単元を通して適切に設定・指導していきたい。

3 単元の指導目標及び評価規準

(1) 指導目標

- ① 九州地方の地域的特色について、環境問題や環境保全を産業や地域開発の動向、人々の生活などと関連づけて考察させる。 【社会的な思考・判断・表現】
- ② 持続可能な社会の構築のためには、地域における環境保全の取り組みが大切であることをとらえさせる。 【社会的事象への関心・意欲・態度】

(2) 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用 of 技能	社会的事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none">・九州地方の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、特に自然災害や公害に関心を持ち、設定した追求テーマを基にした調べ学習を通して、地域的特色を意欲的に追究している。・持続可能な社会の構築に関心を持ち、身近な地域や国内外の環境問題や環境保全に関心を持っている。	<ul style="list-style-type: none">・九州地方の地域的特色について、環境問題や環境保全を中核とした考察を基に多面的、多角的にとらえ、調べる学習活動を通して、その過程や結果を適切に記述している。・環境問題や環境保全について、産業や地域開発の動向、人々の生活などと関連づけて考察し、説明している。	<ul style="list-style-type: none">・九州地方の地域的特色について、各種の地図や統計、写真などから有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめ、学習用語を用いて記述している。	<ul style="list-style-type: none">・九州地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかにとらえている。・九州地方について、環境問題や環境保全を中核とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身につけている。

4 学習指導計画（6時間扱い）

時	学習目標	言語活動に関する留意点	評価規準
1	<p>1 九州地方の生活の舞台</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州地方には火山が多く、様々な災害を引き起こしている一方、恩恵をもたらしていることに興味を持つ。 雨温図を通して、九州地方が温暖で、多雨の気候であることをとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 火山が多く存在するなどの自然環境を確認し、その影響にどのようなことがあるのか調べ、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 九州地方の自然災害や、災害報道に関心を持っている。【関】 地図や雨温図を通して、九州地方の自然環境の特徴をとらえている。【技】
2	<p>2 九州地方の人々の営み</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州地方では、稲作や近代的な工業が発達してきた北部に人口が偏っていることに気づく。 これまでの学習をふまえて、追究テーマに対する仮説を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 九州地方の人口と産業の分布の特徴を読み取り、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 九州地方の人口と産業の地域的な違いを、地図を使って読み取っている。【技】 九州地方の自然災害や公害について、意欲的に追究している。【関】
3 本 時	<p>3 多様な環境問題と環境保全の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 豪雨による土砂崩れと水害に対する取り組みについて、自然環境の特色と関連づけて考察する。 環境保全の取り組みについて、地域開発の動向と関連づけて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 九州地方に自然災害が多い理由を調べ、まとめる。 なぜ、環境保全の取り組みが行われているのか、その理由について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害や環境問題を、自然環境の特色や地域開発の動向と関連づけてとらえている。【思】 環境保全のために、どのような対策がなされているか、理解している。【知】
4	<p>4 工業化・都市化にともなう地域への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 工業化により深刻な公害が発生した水俣市が、環境モデル都市に選定されるまでの過程をとらえる。 都市化がもたらした環境問題と、その対策のための工夫を考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 水俣市が環境モデル都市に選定されるまでの過程について説明できる。 都市化による環境問題について、問題点を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 水俣市や福岡市の環境保全の取り組みを通して、身近な地域の環境保全の取り組みに関心を持っている。【関】 水俣市と福岡市の環境問題の原因と対策を多面的・多角的に考察し、その共通点をとらえている。【思】
5	<p>5 持続可能な社会を創る</p> <ul style="list-style-type: none"> 北九州市が持続可能な社会を目指してエコタウンを形成していることに気づく。 環境問題を、自然環境や人々の生活と関連づけてとらえ、 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会を目指す上で必要なこと、大切なことについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 昔の写真と現在の写真を比較して、環境が大きく改善したことをとらえている。【技】 九州地方の地域的特色について、環境問題や環境保全の観点をふまえて、自分なりに工夫し

	九州地方の特色をまとめる。 ■九州地方の学習を振り返ろう		てまとめ、適切に表現している。【思】
6	[深めよう] 屋久島の自然と人々の生活 ・屋久島の自然環境の多様性と その環境破壊の背景について 理解する。 ・観光業と環境保全の両立につ いて関心を持つ。		・屋久島は亜熱帯地域にある高山 であるため、自然が多様性であ ること、建築材として高い価値 を持つ杉が伐採されてきたこと を理解している。【知】 ・エコツーリズムや身近な地域の 観光のあり方について、関心 を持っている。【関】

5 本時の指導計画（3／6時）

（1）指導目標

九州地方の環境保全の取り組みについて、自然環境や地域開発の動向と関連づけて考えることができる。【社会的な思考・判断・表現】

（2）本校の研究について

<p>研究主題</p> <p>学び合い、考えを深める生徒の育成 ～学びの場における言語活動のあり方を通して～</p>
--

【視点1】学習過程における言語活動の重点化（教師と生徒）

- ・導入段階で、九州地方の人達が災害に対してどのような対策を行い、環境を守ろうとしているのか考えながら課題解決に取り組めるよう見通しを持たせる。

【視点2】学び合いの場における言語活動の工夫（生徒と生徒）

- ・学習課題に対して自分の考えをまとめてから、グループで話し合い、考えを深めること。
- ・自分と同じ考え方や発想だったり、異なる視点の考え方に触れ、自分の考えを広めたり、深めたりする。

(3) 本時の展開

段	学 習 内 容	生徒の学習活動	評価規準・方法等
導入 4分	<p>1 データを読み取る。</p> <p>2 本時の課題確認。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【学習課題】 九州地方では、どのようにして「環境」を守ろうとしているのだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・九州地方で発生している土砂災害の発生件数のデータ等を読み取る。 ・本時の学習課題を確認する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">視点1</div> <ul style="list-style-type: none"> ・九州地方の災害について確認し、本時の課題に対する見通しを持たせる。
展開 40分	<p>3 土砂災害が多い理由と、その対策について調べる。</p> <p>4 沖縄の開発による環境破壊について確認する。</p> <p>5 「開発」に対して、どのような対策をとれば良いか、自分の考えを持ち、交流する。</p> <p>6 沖縄がとっている対策について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書をもとに調べる。 ・4枚の写真をもとに確認する。 ・自分で考えたあと、グループで話し合い、他の人と意見を交流しながら、さらに考えを広める。 ・実際に沖縄が行っている環境保全の取り組みについて確認し、さらに考えを深める。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">視点2</div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの学び合い。 ・それぞれの考えを出し合う。 <p>☆自然災害や環境問題を、自然環境の特色や地域開発の動向と関連づけてとらえている。 (思考・判断・表現)</p> <p>※学習シート</p>
終末 6分	<p>7 課題に対するまとめを行う。</p> <p>8 学習の振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題についてまとめる。 ・学習課題を達成できたかを振り返り、ワークシートに記入する。 	<p>☆環境保全のために、どのような対策がなされているか、理解している。(知識・理解)</p> <p>※学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学びの再確認をする。